



は せ がわ ゆき こ
長谷川 幸子



にほんきょうさんとうつしぎだん
日本共産党津市議団

市政への公平・公正性を求めるが、いかがか

問 現在、特定自治会に対する、施設整備やごみ箱設置補助金の在り方などが問題視されているが、今回の事例の根本的な原因は何か。

また、圧力に屈して言いなりになった組織体制の弱点はどこにあったのか。

自治会活動への公平・公正性を求める市民の声に応えるためにも、徹底究明し、早期解決を目指すべきと考えるがどうか。

外部機関と連携し、問題解決に努める

答 調査段階ではあるが、市民からのさまざまな要求や要望を実現しなければならないという思いの中で、威圧のようなものが行われながら、要求や要望をされ、それに対して応えるために、公平性・公正性がゆがめられたのではないかと考えている。

現在、法律顧問や警察当局などの外部機関と連携を図り、一つ一つステップを踏みながら、着実に前進している。

この問題をうやむやにするつもりは毛頭なく、市民の皆さんへの説明責任が果たせるよう、問題解決に努めていく。

●その他の質疑・質問●

○新型コロナウイルス感染拡大の第3波が広がる中、今こそ津市独自の対策が必要ではないか

- PCR検査体制の実態と病床および宿泊療養施設の確保状況など今後の課題は

- 冬の季節性インフルエンザとの同時流行に備える対策は

- コロナ禍での国保料減免状況はどうか。また、長期滞納者に資格証明書の発行はやめよなど



▲ゆがめられた市政を問う



あ づみ
安積 むつみ



こうめいとうぎいんだん
公明党議員団

思いやりの輪を広げるシトラスリボン運動を

問 新型コロナウイルス感染者への差別は許されないことを改めて認識し、感染された方が安心して戻って来られる環境づくりを心掛けるべきであると思う。

大切な人を守るために、励まされる側から励ます側へという視点も大事である。その意味からも、思いやりの輪を広げるシトラスリボンプロジェクトへ津市も賛同し、市民へこの意識を広めてはどうか。

知っていただく取組みから始め、広げていく

答 このプロジェクトは、誰もが新型コロナウイルス感染症に感染するリスクがある中、感染が確認された方や、医療従事者など感染者を支えてくれている方々が、それぞれの暮らしの場で差別されることなく「ただいま」「おかえり」と、温かく受け入れられる人の輪をつくり、笑顔の暮らしを取り戻せる大切さや、思いやりのある暮らしやすい社会を目指す取組である。

この取組は全国にも広がっており、津市でもその趣旨に賛同できると考えている。まだまだ知らない方が多いので、まずは関係部局と連携して、ホームページで紹介するなど、知っていただく取組から始め広げていく。

●その他の質疑・質問●

○臨時休校等緊急時の貸与用モバイルWi-Fiルーターについて

○不妊治療費助成制度について

- 国の助成拡充が実施されるまでの間、先んじて助成拡充を
- がん患者妊よう性温存治療費助成の考えは

○就職氷河期世代の市職員採用で障がい者採用の考えは

○自治会設立に対し市の考えは



▲思いやりの輪を広げるシトラスリボンプロジェクト！